

**第49回(平成28年度)「医学研究助成」対象者**

- 研究課題 1. 骨粗鬆症の新しい治療  
 2. 特定健診の評価  
 3. 認知症の周辺症状への対応  
 4. 鏡視下手術死亡の検討と対策

研究者	研究主題
愛媛大学大学院 教授 今井 祐記	ゲノムワイド解析に基づく骨粗鬆症治療標的の探索
九州大学大学院理学研究院 准教授 岩見 真吾	骨粗鬆症の先制治療：予測と個別化のためのシステムズバイオロジー
日本大学医学部 専修研究員 高田 伊知郎	破骨細胞とCD4+T細胞を標的にした新規転写共役因子の解析
近畿大学医学部 講師 辰巳 公平	Tissue factorを標的とした骨粗鬆症に対する新規治療法の開発
東京医科歯科大学 教授 中島 友紀	エストロゲン低下にともなう骨粗鬆症の病態解明と革新的な予防・治療法の分子基盤の確立
松本歯科大学総合歯科医学研究所 講師 溝口 利英	血管内皮細胞を標的とした代謝性骨疾患治療法の開発
慶應義塾大学スポーツ医学研究センター 教授 勝川 史憲	特定保健指導の代謝指標改善の長期維持効果、医療費に及ぼす影響の検討
東京大学大学院 教授 小林 廉毅	特定健診とレセプト縦覧データの突合分析による心血管重篤イベントのリスク予測と健診検査項目の評価
大阪がん循環器病予防センター 医長 村木 功	特定健診経年データを用いた糖尿病発症予測モデルの妥当性の検証および発症予測ツールの開発
名古屋市立大学大学院 教授 安井 孝周	特定健診におけるインスリン抵抗性測定の評価と尿路結石予防法への応用
岡山大学 准教授 内田 治仁	岡山県の特定健診受診者における、慢性腎臓病対策としての受診勧奨および保健指導の効果の検討
大阪大学大学院 助教 北島 康司	ダウン症者の認知症における周辺症状増悪因子の同定と治療法の開発
大分大学医学部 助教 後藤 孔郎	肥満を伴ったアルツハイマー型認知症発症予防に対するガラクトオリゴ糖の有用性
東京慈恵会医科大学 助教 品川 俊一郎	DNAメチル化量を用いたアルツハイマー病患者の行動・心理症状(BPSD)の出現および治療反応性の予測
岐阜大学大学院 教授 中川 敏幸	逆行性健忘に起因する目的のある徘徊に対する治療法の開発
名古屋大学大学院 講師 平川 仁尚	地域の多職種認知症周辺症状対応力を高める無料LINE学習システムの開発
北海道大学大学院 講師 安部 崇重	内視鏡外科手術関連インシデント報告の手術教育への利用に関する研究
鹿児島大学学術研究院 教授 家入 里志	医療安全水準の向上を目指した内視鏡外科手術の客観的技術評価方法の確立 —適正評価と危険操作の回避を目指して—
大阪医科大学 助教 井上 善博	鏡視下手術死亡の検討と対策
関西医科大学 助教 梅垣 岳志	鏡視下手術死亡の検討と対策

**第25回(平成28年度)「医学研究特別助成」対象者**  
 (第47回(平成26年度)「医学研究助成」研究報告を対象)

- 研究課題 1. 遠隔医療による生活習慣病管理  
 2. 小児臓器移植  
 3. 動脈硬化の画像診断  
 4. 膵癌に対する化学療法による生存率の改善

久留米大学医学部内科学 講師 田原 宣広	FDG-PET/CTを用いた冠動脈ステント留置部位の分子病態の解明
放射線医学総合研究所 主任研究員 崔 星	膵臓癌幹細胞を標的とした重粒子線とTS-1やGemcitabine併用による細胞生存率、DNA損傷及び腫瘍増殖抑制効果
東北大学大学院医学系研究科 准教授 正宗 淳	膵星細胞による癌幹細胞ニッチの解明と治療応用-Keap1-Nrf2経路活性化の関与-